



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：芦田 雄汰朗（1年次）

むつ市の横から降る雪を見ると、地元の下から降る雪を思い出します。寒い日が続いていますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。

出不精が服を着て歩いているような私は、外が寒くなるにつれて外出するのも遠のいております。様々なサブスクリプションのおかげで、楽しい時間を過ごしているのは間違いありませんが、何となくもったいない気がするのはないものねだりのように感じます。

最近の悩みと申しますか、自分で自分に驚いたことに、以前は長時間楽しめていた映画やドラマを観ることができなくなってしまったことがあります。サブスクリプションなのでいつでも止めて、いつでも再開することができるので、あまり問題はないのです。しかしながら、ぶつ切りに観てしまうため、内容が分からなくなり、最後まで観られないこともしばしばあります。また、涙腺が緩くなった気もして、ふと軽い気持ちで観ると心揺さぶられてしまうこともあります。フィクションで泣くなんて、中高生の時には考えられませんでした。

25年間生きていて、初めて家族と過ごさない年末年始を過ごしました。大学から一人暮らしでホームシックになったことはないのですが、寂しさなどはありませんでしたが、新鮮な気持ちであったのは確かです。内容的には、餅や蕎麦を食べる、年末特番を観るなど例年と変わったことはありませんでした。いずれは家族とまた年末年始を過ごせればと思います。今までにないくらい長期間家族と直接話していませんので、その日を楽しみにしようと思います。

「一年の計は元旦にあり」とは言いますが、四半世紀生きて、その1年間の目標を決めたことはない気がします。自分が器用でないことを自覚しているため、愚直に目の前の壁にぶつかっていくしか選択肢がなかったように感じます。追い詰められると、さらに視野が狭くなってしまうので、余裕をもって事に挑められればと思います。書いていて、一年というよりも今後の目標を見いだせたように感じます。

1年365日と時間に区切りはあるものの、結局は一続きの人生でありますので、克己心を持ち続けて、精進します。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。